

総合人文科学研究センター研究部門
現代社会における「想像力」の総合的研究

2018年度第4回研究会の報告

日時：2019年1月24日（木）18時30分から21時00分

会場：戸山キャンパス31号館2階、203教室

第4回研究会は、「〈知的障害者〉と／への『想像力』」をテーマとし、重度知的障害者の自立生活を描いたドキュメンタリー映画「道草」の監督、宍戸大裕氏をお招きして行われた。

前半は、ロードショー直前の映画「道草」の特別上映が行われた。「道草」は、自閉症と重度の知的障害があり、自傷・他害といった行動障害がある人たちが、親元でも入所施設でもなく、地域で昼夜を問わない介護者の見守り支援を受けながら生き生きと暮らす姿を描いたドキュメンタリー映画である。

後半のコーディネーターは本学術院教員・当研究会構成員の岡部耕典が担当し、映画の視聴を踏まえ、この映画を監督した宍戸大裕氏との、フロアを巻き込んだディスカッションを行った。議論の射程は、映画で描かれた知的障害者の地域生活支援の実際から津久井やまゆり園での障害者殺傷事件、自立概念の再検討や共生社会実現のための想像力の活用やその在り方にも及び、文学学術院教員及び学部生だけでなく、他大学の学生や院生、新聞記者やジャーナリスト、障害者運動に関わるアクティビストや研究者等、今回の研究会のテーマに関心をもつ多様な参加者によって活発で有意義な議論が展開された。

参加者は研究会メンバーを含み37名に及び今年度で最大規模の研究会となった。

（岡部先生記）